

FortiMail™

総合的なメッセージング セキュリティ

実績あるセキュリティ

FortiMailアプライアンスは、スモール ビジネスから大規模エンタープライズ、キャリア、サービスプロバイダに至る、あらゆる規模のユーザに対応した、実績あるメッセージング セキュリティ プラットフォームです。非常に厳しい要求にも耐えうるメッセージング システムとして専用に開発されたFortiMailアプライアンスは、スパム、マルウェア、その他メッセージに伴う脅威からネットワークを保護してきたフォーティネットの長年にわたる経験が活かされています。

インテリジェント プロテクション

FortiMailを導入する事で、組織のメッセージング システムが脅威にさらされる事態を回避することができます。FortiMailのインバウンド フィルタリング エンジンがスパムとマルウェアをブロックするため、それらがネットワークに侵入してユーザに影響を及ぼすことはありません。また、アウトバウンド スパムやマルウェアが原因で他のアンチスパム ゲートウェイが正規のユーザ(モバイル トラフィックを含む)をブラックリストに登録してしまう問題も、FortiMailのアウトバウンド インспекション テクノロジーによって防止することができます。さらに、FortiMailダイナミックおよびスタティック ユーザ ブロッキング機能により、組織のポリシーとユーザ全体をきめ細かくコントロールすることが可能です。

FortiMailは、ポリシー ベースの暗号化を実行し、コンテンツをセキュアに配信するためのEメール暗号化オプションとして、S/MIMEとTLSに加えてIDベース暗号(IBE:Identity-BasedEncryption)をサポートします。さらにFortiMailのカスタマイズ可能な定義済みの辞書が、機密、規制対象のデータが偶然、あるいは意図的に漏洩されるのを防止します。

高性能かつ比類ない柔軟性

FortiMailシステムは、精度の高いさまざまなアンチスパム フィルタを用いることで、高性能なメールルーティングと強固なセキュリティを実現します。業界をリードするFortiGuard Labsのリアルタイム アンチウイルスおよびアンチスパイウェア プロテクションと組み合わせることで、FortiMailは、ユーザに極めて高速かつ正確なメッセージング セキュリティを提供します。また、それぞれの組織の環境やユーザに最も適した形でメッセージング セキュリティを展開できる柔軟性も兼ね備えています。



データシート

FortiMail製品ファミリ: 総合的なメッセージング セキュリティ

- ✓ 最大で毎時130万通のEメールを検査
- ✓ 導入における比類ない柔軟性
- ✓ プッシュとプル両メソッドでIDベース暗号方式をサポート
- ✓ 情報漏洩を防止するカスタマイズ可能な定義済みの辞書
- ✓ エンドポイントにおけるきめ細かいポリシーの実行
- ✓ FortiGuard Centerからのシグネチャの配信



主な機能	メリット
導入における柔軟性 - トランスパレント/ゲートウェイ/サーバ モード	現在市販されているメール サーバはいずれも、サーバ モードまたはゲートウェイ モードで動作するものがほとんどです。FortiMailはこれら2つのモードに加え、トランスパレントモードもサポートしています。このモードでは、DNSのMXレコードを変更したり既存のネットワーク設定を変更する必要なく、Eメールをインターセプトできます。このモードをサポートしているのは、フォーティネットのFortiMail以外にありません。
プッシュとプル両メソッドでIDベース暗号方式をサポート	機密または規制対象のコンテンツのセキュアな配信をお約束します。容易に導入することができ、新たなハードウェアやソフトウェアのインストールやユーザ プロビジョニング、受信者の事前登録も必要ありません。
情報漏洩防止	機密または規制対象のデータの偶然、あるいは意図的な漏洩を検出します。さまざまなパターンにマッチするデータを含んだメッセージをブロックするか、あるいはそのデータを含むメッセージの暗号化を実行するためのポリシーを作成するか、選択することができます。これにより、PCI DSS、HIPAAコンプライアンスを支援します。
アンチスパム ゲートウェイ	キャリアやサービスプロバイダは、スパムメールを送信しているエンドポイント(スマートフォンを含む)をブロックし、利用者がブラックリストに登録されることを防止できます。
ユーザ数無制限ライセンスの統合セキュリティ	ユーザ数に制限なく、アンチウイルス、アンチスパム、アンチスパイウェア、アンチフィッシングを含む完全な多層セキュリティ プロテクションを実現します。これによりTCOの大幅な削減が可能になります。
Webメールとカレンダー機能	社内PCではメーラー、社外からはWebメールを利用することが可能です。また、カレンダー機能を利用すれば、社内外を問わずスケジュールの確認が可能です。
ポリシーベースのアーカイブ	標準装備の大容量ストレージは、メールアーカイブサーバとして利用可能です。

トランスペアレント/ゲートウェイ/サーバ モード機能

- 多数のEメール ドメインのサポート
- 高可用性 (HA) のサポート
- 既存のEメール サーバに対するSMTPメール ゲートウェイ
- 統合ポリシー ベースEメール ルーティングおよびキュー管理
- アウトバウンド メール リレーによるメール セキュリティの強化
- スпамおよびウイルス アドレス、IPアドレス、またはドメインに対するきめ細かい多層検出ポリシー
- ポリシー (ドメイン) 単位のLDAP属性を用いた、ユーザ単位のアンチウイルスおよびアンチスパム スキャン
- LDAPベースのEメール ルーティング
- LDAPオート プロビジョニング
- WebメールおよびPOP3によるメッセージ アクセスの隔離
- デイリー隔離サマリ
- リモート ストレージのバックアップ サポートによる、インバウンドおよびアウトバウンド メッセージのポリシー ベース アーカイブ
- 失敗、遅延、配達不能のEメールに対するメール キュー サポート
- LDAP、RADIUS、POP3、またはIMAPIによるSMTP認証サポート
- ユーザ単位の自動ホワイトリスト
- しきい値ベースのトラップによる標準およびプライベートMIBを用いたSNMPサポート
- 以下に基づくローカル送信者評判リストの整備：
 - 送信されたウイルスの数
 - 送信されたスパムの量
 - 不良受信者の数
- ダイナミックDNS (DDNS)
- グレーリスト データベースの維持
- セキュリティで強化されたオペレーティングシステム
- 複数言語のサポート
- Regexパターン マッチング
- 送信者ポリシー フレームワーク (SPF)
- DomainKeys
- DomainKeys Identified Mail (DKIM)
- フラグメントかされたメッセージのブロック
- 送信元や宛先に関するIPアドレスのプールを用いた仮想ホストのサポート

DoSプロテクション

- DoS (メール爆弾)
- 受信者アドレス攻撃
- Eメール レートリミット
- リバースDNSチェック (アンチスプーフィング)
- 偽造された送信者アドレス

暗号化

- 暗号化されたメッセージをプッシュ/プル配信するためのIDベースの暗号化
- ゲートウェイ間暗号化のためのS/MIMEサポート
- HTTPS、SMTPS、SSH、IMAPS、POP3Sなどの強力な暗号プロトコルのサポート

高可用性(HA)

- 全モードでサポート
- アクティブ/パッシブ構成
- 隔離およびメール キュー同期化
- ステートフル フェイルオーバー
- デバイス障害の検出および通知
- リンクステータス モニタ
- リンク フェイルオーバー

管理、ログ、レポート

- クイックスタート セットアップ ウィザード
- ベーシック/アドバンス管理モード
- リアルタイム統計
- 階層型管理アカウント
- 隔離検索機能
- 自動PDFレポート スケジュールリング
- 設定変更および管理イベント ロギング
- アンチウイルス インシデント ロギング
- アンチスパム アクティビティ ロギング
- 外部またはローカルSyslogサーバのサポート
- iSCSIデバイスを含む、外部またはローカル ストレージ サーバのサポート
- FortiAnalyzerサポートによる集中レポートの拡充
- クリティカルなイベントやウイルス インシデントのアラート
- 7つのカテゴリに分類された140超のレポートによる包括的なレポート
- 定期レポート作成
- ディクショナリによって実行されるアーカイピング

アンチスパム - コンテンツ レベルの検出

- インバウンドおよびアウトバウンド フィルタリング
- 広範なヒューリスティック スпам フィルタ
- ダイナミック ヒューリスティック ルール アップデート
- 添付ファイル/コンテンツ フィルタリング
- ディープEメール ヘッダ インスペクション
- ベイズ統計フィルタリング
- スпамURIリアルタイム ブロックリスト (SURBL)
- 禁止ワード フィルタリング
- インバウンドおよびアウトバウンド フィルタリング
- スпам隔離およびスパム タギング
- スпам チェックサム ブロックリストに基づくスパム管理 (受理、中継、拒否、または破棄)
- スпам イメージ分析スキャン
- PDFスキャン/PDFイメージ スキャン
- FortiGuardアンチスパム サービス
- グローバルおよびユーザによるカスタマイズが可能なブラック/ホワイト リスト
- サードパーティ リアルタイム ブラックリスト (RBL) サポート
- IPスプーフィング チェック
- グレーリスト チェック

アンチウイルス/アンチスパイウェア プロテクション

- ウイルス スキャンSMTPメッセージ
- 圧縮添付ファイルおよびネストされたアーカイブのサポート
- 感染ファイルの隔離
- 差し替えメッセージの通知
- ファイル タイプによるブロック
- 添付ファイル フィルタリング

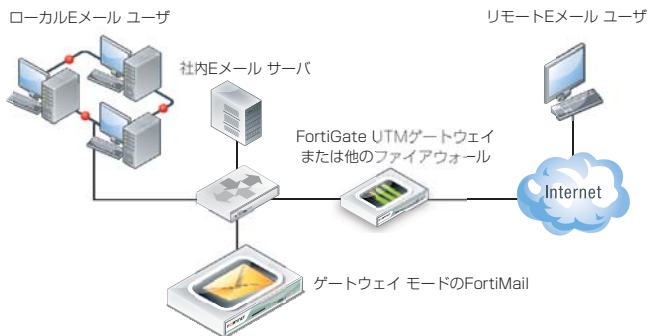
サーバ モード固有の機能

- POP3、SMTP、およびIMAP Eメール サービス
- SMTP over SSLのサポート
- ユーザ アカウントに対するディスク クォータ ポリシーのサポート
- セキュアなWebメール クライアント アクセス
- ユーザ、グループ、およびエイリアス リストのサポート
- ローカル アカウントおよびLDAP認証
- スпам メールに対するバルク フォルダのサポート
- Webメール
- カレンダー機能
- LDAPによるアドレスブックの同期

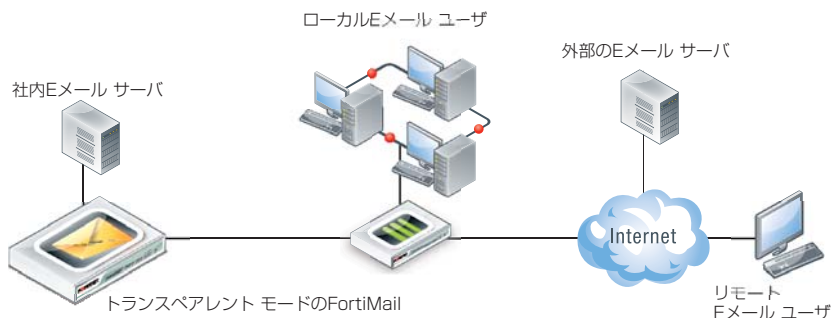
FortiMail導入オプション

FortiMailは、トランスペアレント、ゲートウェイ、またはサーバの各モードを選択して設置できるため、組織固有のメッセージング セキュリティ要件を満たし、インフラの変更やサービスの中断を最小限に留めることが可能です。

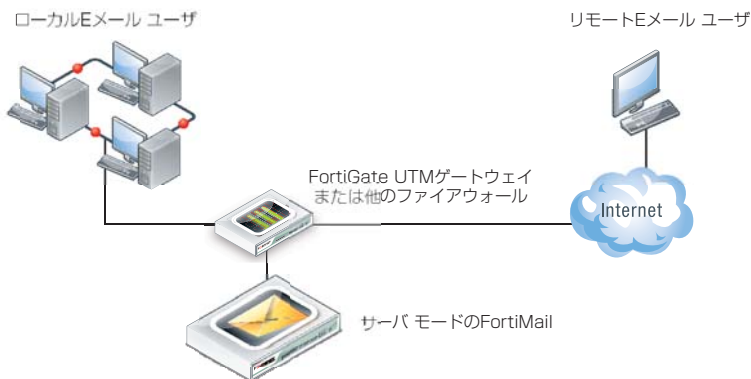
- ゲートウェイモード:** 既存のEメール ゲートウェイに対してインバウンドおよびアウトバウンドのプロキシ メール トランスファー エージェント(MTA) サービスを提供します。シンプルなDNS MXレコード変更機能によってEメールがFortiMailにリダイレクトされ、そこでアンチスパム/アンチウイルス スキャンが実行されます。FortiMailユニットは、メッセージを受信してウイルスやスパムがないかどうかをスキャンしてから、Eメールを宛先のEメール サーバへと中継します。



- トランスペアレントモード:** 各ネットワーク インタフェースに、Eメールを受信および中継するプロキシが含まれます。各プロキシは、宛先IPがFortiMail アプライアンスでなくても、SMTPセッションをインターセプトできます。FortiMailはウイルスやスパムがないかどうかをスキャンしてから、Eメールを宛先のEメール サーバへと転送します。DNS MXレコードを変更したり、既存のネットワーク構成を変更したりする必要がありません。

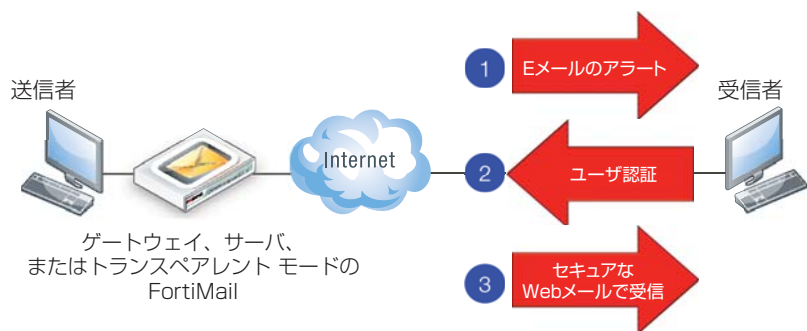


- サーバモード:** FortiMailユニットはスタンドアロン メッセージング サーバとして動作し、セキュアなPOP3、IMAP、およびWebメール アクセスを柔軟にサポートする、SMTPメール サーバのフル機能を提供します。メッセージを受信すると、ウイルスやスパムがないかどうかをスキャンしてから、Eメールユーザのメールボックスに送信します。サーバ モードのFortiMailユニットは保護されたサーバ自身として機能するため、外部のMTAがFortiMailサーバに接続します。



IDベース暗号(IBE:Identity Based Encryption)

追加ライセンス料金なしで、機密または規制対象のEメールを自動的にセキュアに配信します。暗号化した添付ファイルとパスワードを別のメールで送る必要がなくなり、ユーザの利便性が向上します。



- ポリシーベースの暗号化:** 自動的にメッセージを暗号化するポリシーを作成することで、ユーザが意識することなく、安全にメールを送信できます。
- プッシュまたはプルモード:** プッシュ、プル、またはその併用の各モードを用いて、各組織のセキュリティ要件を満たすことができます。
- 導入、利用、管理が容易:** トランスペアレントを含めた任意の展開モードでIDベース暗号を実装できます。ユーザ プロビジョニングを実施したりハードウェアまたはソフトウェアを追加したりする必要は一切ありません。

技術仕様	FortiMail-100C	FortiMail-400B	FortiMail-2000B	FortiMail-3000C	FortiMail-5001A
ハードウェア仕様					
10/100インタフェース(銅線, RJ-45)	1	0	0	0	0
10/100/1000インタフェース(銅線, RJ-45)	2	4	6	4	2
SFPギガビット イーサネット インタフェース	0	0	0	2	0
内部バックプレーン ベース/ ファブリック チャンネル インタフェース	0	0	0	0	2 / 2
拡張スロット	0	0	0	0	シングル幅AMC
冗長ホットスワップ電源	×	×	○	○	N/A
ストレージ	1 TB	1 x 500 GB (オプションで1 TB)	2 x 1 TB (オプションで6 TB)	2 x 1 TB (オプションで6 TB)	1 x 80 GB HDD (ASMストレージモジュール)
RAIDストレージ管理	×	ソフトウェア: 0, 1 (RAID 1では2台目に 500 GBドライブが必要)	ハードウェア: 1, 5, 10, 50, ホットスベア (ドライブの台数に基づく)	ハードウェア: 1, 5, 10, 50, ホットスベア (ドライブの台数に基づく)	×
形状	デスクトップ	ラックマウント アプライアンス	ラックマウント アプライアンス	ラックマウント アプライアンス	ATCAシャーシ
システム仕様					
Eメールドメイン	50	500	5,000	5,000	10,000
受信者ベースのポリシー(ドメインあたり / システム あたり)- 受信または送信	60 / 300	600 / 3000	1,500 / 7,500	1,500 / 7,500	1,500 / 7,500
サーバ モード メールボックス	200	1,000	3,000	3,000	3,000
アンチスパム, アンチウイルス, 認証, およびコンテンツ プロファイル(ドメインあたり / システムあたり)	50 / 60	50 / 200	50 / 600	50 / 600	50 / 600
無制限ユーザ ライセンス	○ (ユーザ数ベースの課金ではありません)				
パフォーマンス(メッセージ数/時) [3 KBのメッセージ サイズに基づく、キューイングがない場合]					
Eメール ルーティング	90,000	264,600	1,100,000	1,300,000	1,400,000
FortiGuardアンチスパム	85,000	234,000	1,100,000	1,300,000	1,300,000
FortiGuardアンチスパム+アンチウイルス	77,000	185,400	1,000,000	1,200,000	1,100,000
寸法					
高さ x 横幅 x 奥行き (cm)	4.4 x 38 x 16 cm	4.5 x 43.8 x 36.8 cm	8.6 x 44.3 x 68.1 cm	8.6 x 44.3 x 68.1 cm	3.0 x 35.5 x 31 cm
重量	1.8 kg	4.5 kg	26.1 kg	26.1 kg	3.6 kg
環境条件					
必要電源	100-240V AC	100-240V AC	100 - 240 V, 50/60 HZ, 7.0 - 3.5A	100 - 240 V, 50/60 HZ, 7.0 - 3.5A	-40.5 V(DC)から -57 V(DC)
消費電力(平均)	56 W	121 W	152 W	200 W	148 W
放熱	190.4 BTU	304 BTU	519 BTU	868 BTU	610 BTU
動作温度	0 ~ 40°C	0 ~ 40°C	10 ~ 35°C	10 ~ 35°C	0 ~ 40°C
保管温度	-35 ~ 70°C	-35 ~ 70°C	-40 ~ 65°C	-40 ~ 65°C	-35 ~ 70°C
湿度	5 ~ 95%、 結露しないこと	5 ~ 95%、 結露しないこと	5 ~ 95%、 結露しないこと	5 ~ 95%、 結露しないこと	20 ~ 90%、 結露しないこと
準拠規格					
	FCC Class A Part 15, CE Mark	FCC Class A Part 15, UL/CUL, C Tick, VCCI	FCC Class A, UL/CB/CUL, C Tick, VCCI, US EPA Energy Star Compliant	FCC Class A, UL/CB/CUL, C Tick, VCCI, US EPA Energy Star Compliant	FCC Class A Part 15, UL/CB/CUL, C Tick, VCCI
認定					
	ICSA Labs Antispam, VBSpam Platinum, Common Criteria EAL 2+, FIPS 140-2 Validation				

FORTINET

フォーティネットジャパン株式会社

〒106-0032
東京都港区六本木 7-18-18
住友不動産六本木通ビル 8 階
TEL:03-6434-8531/8533
www.fortinet.co.jp

お問い合わせ

Copyright© 2011 Fortinet, Inc. All rights reserved. この文書のいかなる部分も、いかなる方法によっても複製、または電子媒体に複製することを禁じます。この文書に記載されている仕様は、予告なしに変更されることがあります。この文書に含まれている情報の正確性および信頼性には万全を期しておりますが、Fortinet, Inc. は、いかなる利用についても一切の責任を負わないものとします。Fortinet®, FortiGate®, および FortiGuard® は Fortinet, Inc. の登録商標です。その他記載されているフォーティネット製品はフォーティネットの商標です。その他の製品または社名は各社の商標です。

DS-FML-201106-R19